

## 令和5年度 第3回学校運営協議会

住 所 盛岡市羽場18-11-1  
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校  
校 長 瀬戸和彦  
電 話 019-638-3141

### 1 会議の名称

令和5年度第3回学校運営協議会

### 2 会議の日時

令和6年2月20日（火）10：10～11：00

### 3 会議の場所

盛岡工業高等学校 機械科実習棟 第1研修室

### 4 出席者の氏名

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 清水 健司 | 岩手県立産業技術短期大学校 校長     |
| 池 浩之  | 岩手県工業技術センター 理事       |
| 野田 純孝 | 株式会社ミクニ盛岡事業所 所長      |
| 中里 哲夫 | 同窓会 体育後援会副会長         |
| 中村 知泉 | P T A 元P T A 3 学年委員長 |

|         |           |
|---------|-----------|
| 瀬戸 和彦   | 校長        |
| 千葉 靖久   | 副校長（全日制）  |
| 宮沢 一裕   | 副校長（定時制）  |
| 鶴田 和久   | 事務長       |
| 菊池 光    | 教務主任（全日制） |
| 小野寺 真由美 | 総務主任（全日制） |

#### 【欠席者】

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 浅沼 清一  | エスペロの会 会長 [ J A 岩手中央代表理事組合長 ] |
| 佐々木 秀一 | 盛岡市立飯岡中学校 校長                  |

尾崎 芳彦 副校長（全日制）

### 5 会議の次第（進行：千葉副校長）

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議（進行：清水委員）
  - ア 令和5年度活動概況について
  - イ 令和5年度学校評価について
  - ウ 委員からの提言等
  - エ その他
- (4) 閉会

### 6 会議の概要（協議内容）

- (1) 校長挨拶

学校概況として一点だけお話ししたい。先日、高校入試の出願状況について、新聞等での報道があった。資料2ページに記載のとおり、全日制216名、定時制6名の合計222名の新入生を迎えて今年度はスタートしたが、残念ながら全ての学科で定員が割れ、厳しい状況でのスタートとな

った。県内の中学校3年生の生徒数は高校1年生よりも少なく、さらに進路希望調査によると岩手県全体で工業高校を希望する割合が5%減っているという厳しい状況であった。しかし、関係各位、先生方の尽力により一般入試では全日制でおよそ240名から出願があり、3つの学科では定員を超えている。定時制への出願は8名で昨年度よりも2名多く、全日制、定時制ともに志願者数が大きく増えていることから、中学生や保護者、地域の方々の評価の観点の一つではないかと思っている。

引き続き、本校の魅力化に向けて情報発信等に努めていきたい。

(2) 協議（議長は清水会長が務める）

協議のアとイを千葉副校長が説明

ア 令和5年度活動概況について

- ・ 資料の2ページ「令和5年度 主な教育活動・行事の報告」をもとに、主な活動・行事について説明した。
- ・ 資料3ページは年度後半（10月以降）の写真を抜粋したものである。
- ・ 4ページから8ページまでは進路指導に関するもので、進路先一覧を学科毎に記載した資料も添付した。
- ・ 9ページと10ページは、生徒のコロナ感染（新規陽性判明者数）状況をグラフにしたもので、今年度と昨年度のデータである。4月から12月までの延べ人数は昨年度が321名だったのに対し、今年度は93名と大幅に減少し、落ち着いた状況であった。

【委員】

県内への就職率が下がった主な理由はどのような事だと感じているか。

【学校】

例年の割合に戻ったという印象である。昨年度の本県の県内就職率は58%であったが、コロナによる県内志向の高まりによるものだった。今年度は42%であったが、コロナ前の割合に近づいていくと思われる。

【委員】

工業高校を含めて他の高校も同じような状況なのか。

【委員】

企業で採用活動をしていると、応募者が少ないことから同じような傾向であると感じる。

【委員】

工業高校への希望者が5%減っている中で、今年度は応募者が増えた。体験入学や運動部体験などを活発におこなった成果と思われる。今後も引き続き取り組んでいただければと思う。

イ 令和5年度学校評価について

- ・ 資料11ページの「生徒」集計結果を中心に説明した。12ページからは生徒の自由記述をそのまま記載している。
- ・ 資料14ページからは「保護者」の集計結果と自由記述、17ページには「職員」の集計結果を掲載した。

【委員】

肯定的な回答として65.3%は高くはないが、「家庭学習を毎日行うように努力している」生徒が昨年よりも20ポイントも増えた要因は何か。

【学校】

学校として取り組んでいることは特にない。週末課題や各教科で宿題を課しているが、肯定的回答が増えた理由はわからない。

**【学校】**

普通教科の先生方は、「課題への取り組みやすさ」を追求しているようである。ただ単に難しくせず、本校の生徒たちが取り組みやすく、継続できるような内容であると感じている。

**【委員】**

コロナ以前やコロナの時も、やはり肯定的な回答率は低かったのか。先ほどの県内県外の就職の割合と家庭学習の時間は関係があるのか。

**【学校】**

昨年度は3学年の担当だったが、在籍していた期間を振り返ると家庭学習の時間が一日に30分も取れないような生徒が多かったように感じる。実力テスト等のアンケートでも家庭学習をしていない生徒が多い結果だった。観点別評価により、提出物や課題への取り組みが評価に結び付くことが生徒にも浸透したためではないかと思われる。

**【委員】**

「わかりやすい授業が行われている」の質問に対して大半の生徒がAやBで回答しているが、C又はDと回答した約5%の生徒に対してのフォロー（指導）はどうしているのか。

**【学校】**

アンケートのため、どの生徒が否定的な回答をしたのか判らないが、学校としては成績不振の生徒に対して年度初めに数学や英語の課外を実施したり、考査前補習を実施したりしている。

**【委員】**

アンケートの質問に「体育大会」の項目があるが、「盛工匠祭」などの行事に対して生徒はどのような思いで参加しているか。

**【学校】**

「盛工匠祭」については、3年生を中心とした数十名の生徒と各科職員で対応したため、全校生徒での取り組みには至っていない。一部の生徒と先生方のみでの活動になっていることから、「自分も匠祭に参加したい」という生徒の思いは弱いかもしれない。

**【委員】**

このような行事を今後も継続することによって、下級生が参加したいと思うような行事になり、活発化して一般の方々にも工業高校を周知できたり魅力が伝わったりと思うので、今後とも宜しく願いたい。

**【委員】**

昨年と一昨年、匠祭を見学させていただいた。対応していた生徒の説明が上手で、楽しんでいる様子が非常に伝わってきた。小さい子どもたちにとっても良かったのではないかと思う。ぜひ続けてもらいたい。

**【委員】**

このような行事の周知については、各家庭へどのような方法で行われているのか。

**【学校】**

生徒を通じての文書配付と全校一斉メールにより周知している。

**【委員】**

学校評価アンケートについて、生徒と保護者の回答割合や記述内容は妥当な感じを受けた。17ページの職員の集計結果を見ると、肯定的回答率が80%以上でも昨年度より数値が低下した項目が多いことに驚いた。学校現場だけでは解決が難しい問題等も様々あると思うが、学校として、先生方への具体的な対応策をどのように考えているか。

【学校】

職員については、働き方改革の一つとして年度途中から校務運営委員会を実施し、先生方の意見を吸い上げてボトムアップを図るよう取り組み始めている。

【学校】

その他の取組としては、職員会議における連絡事項の説明を省略して概ね30分以内に終了するようになった。全員が参加していた会議の出席者を分掌主任等へと精選したり、会議を同一日に開催したりすることで職員の負担軽減を図っている。

また、進路指導部では求人票の整理やコピー、配布等の事務的な業務を軽減するため、Webを利用したシステムを導入した。保護者も閲覧できるため好評である。

県教委主導の働き方改革の取組として本校でも留守番電話が導入されていた。定時制の関係でここ何年間かは稼働していない状況にあったが、3月から改めて稼働させることで職員の負担軽減を図る取組を進めていく。

【学校】

今年度からは、毎週月曜日を「か・えるの日」として定時退庁に努めるよう先生方に声掛けしている。

【学校】

校則に関しては、生徒会執行部のメンバーと私とで面談をし、校則検討委員会の設置に向けて動き出している。今後、頭髪や服装、学校の課題等についてアンケートを実施していく。部活動やものづくりで活躍があった際は、その報告会を校長室で行っている。今年度は数十人の生徒から報告があったが、意欲の向上や頑張りにつながってこのような評価になったと思われる。

- ウ 委員からの提言等  
上記ア、イのとおり
- エ その他  
なし

(3) 閉会

**7 会議のまとめ**

今年度、運営協議会を3回開催することができた。委員の皆様にはお忙しいところ御足労いただき感謝を申し上げます。本校の教育活動充実と発展、魅力化にむけた御意見、御提案をいただきたい。来年度も引き続き御支援、御協力をお願いしたい。